

# 野村万作 狂言の会

闇に浮かぶ能舞台、  
水面に揺れる二本のかがり火、  
新月の夜、野村万作・萬斎親子が舞う――。

コレ

狂言 悪太郎  
狂言 茸

コレーレ風のうたば2000



8月1日 と き 2000年

◇開場18時30分 ◇開演19時

◆「コレーレ」  
黒部市国際文化センター

◆「コレーレ」  
野外能舞台 / 限定400席

◆入場料 (全席自由)  
一般 5,000円  
高校生以下 2,000円

◆お問い合わせ / 「コレーレ」  
TEL 0765(57)1201  
主催 / 財団法人黒部市国際文化センター  
協賛 / チョークアップテレビ・富山エフエム放送  
後援 / 黒部市・黒部市教育委員会

◆ブレイカイト	◆ブレイカイト
◆コレーレ	◆コレーレ
◆メルシャン	◆メルシャン
◆ロイヤルリリ	◆ロイヤルリリ
◆アスカ	◆アスカ
◆インフォマート	◆インフォマート
◆COCO駅前店	◆COCO駅前店
◆高岡大和	◆高岡大和

(宇奈月町)  
宇奈月国际芸館  
(朝日町)  
アスカ  
(富山市)  
インフォマート  
COCO駅前店  
(高岡市)  
高岡大和

☎ 0765-162-2000  
☎ 0765-821-2000  
☎ 0765-741-9105  
☎ 0765-765-721-1105  
☎ 0765-765-724-3030  
☎ 0765-541-1000  
☎ 0765-541-2221  
☎ 0765-571-1201  
☎ 0765-571-1123  
☎ 0765-541-2221  
☎ 0765-571-1201

# 薪狂言隨行

野村万作

コラーレの薪狂言の演目を考えていると、定期的に催しているためか、年月の過ぎゆく早さを感じます。面白い演目をと思うのは勿論ですが、あの野外の空間にふさわしい狂言をと配慮しております。「草」は海外でも文句なしに喜ばれる、動きの面白い、賑やかな狂言です。アメリカで以前演じた時には、ベトナム戦争を連想した人がいました。或いは、草をゴキブリにおきかえて観たニューヨーク・タイムズの記者もおります。このように時代をこえ国境をこえて享受される狂言の良さをコラーレの雰囲気と共に、是非味わっていただきたいと思います。「悪太郎」では大いに黒部のお酒を飲ませていただきます。但しこの役は悪の名があるよう悪酔いの演技をおみせいたしますが、根は気の小さい善人なのだと思し召して下さい。



野村万作  
(狂言師)

1931年生。故6世野村万蔵(人間国宝)の次男。  
祖父及び父に師事。3歳で初舞台。早稲田大学  
文学部卒業。重要無形文化財総合指定者。古典  
はもとより新しい試みにもしばしば取り組む。  
狂言の最高秘曲である「釣狐」の演技で芸術祭  
大賞を受賞した他、紀伊国屋演劇賞、芸術院賞、  
紫綬褒章、坪内逍遙大賞など多くの受賞歴を持  
つ狂言界の第一人者。国内外で狂言普及に貢  
献。1994年NHKで「釣狐に挑む」と題するドキ  
ュメンタリーが放映され、多くの人々に感銘を  
与えた。著書に「太郎冠者を生きる」がある。



野村万之介  
(狂言師)



野村萬斎  
(狂言師)



石田幸雄  
(狂言師)

## 番組

解説

石田 幸雄

### 火入の儀

#### 狂言 悪太郎 あくたろう

乱暴者の悪太郎は、酒を飲むことを非難する伯父を脅してやろうと、長刀を携えて出かけていく。そこでも散々酒を飲み、良い機嫌になった悪太郎は、帰る道すがら寝込んでしまう。あとをつけた伯父は、道端に寝込んだ姿を見つけ、悪太郎を僧形にし、「今後は南無阿弥陀仏と名づける」と言い渡し去る。目を覚ました悪太郎は、伯父の言葉を仏のお告げと信じ、仏修行することを決心する。そこへ出家が「南無阿弥陀仏」と称えながらやってくると……。

悪太郎の惡は乱暴者という意味。後半、出家の唱える念仏を自分の名前だと勘違いした悪太郎が、変化する念仏のテンポに合わせて熱心に答えるところが見どころです。

悪太郎 野村 万作

伯父  
僧

野村万之介  
野村 萬斎

#### 狂言 草 くさひら

家の中に大きな草がはえて、取っても取っても無くならないので、困った男は山伏に祈祷を頼むことにする。山伏はもつたいぶりつつも祈祷を始めるが、草はなくなるどころかますます増え、挙げ句の果てに山伏や男にいたずらするものまで現れる。山伏は最後の気力を振り絞って祈るのだが……。

傘をかぶり、いろいろな面をつけた大小さまざまな草が登場します。

山伏 野村 萬斎

何某	石田 幸雄
草	月崎 晴夫
草	深田 博治
草	高野 和憲
草	石田 淡朗
草	竹山 悠樹
草	時田 光洋
草	破石 晋照
草	小川 七作
鬼草	野村万之介

後見 野村 良午